



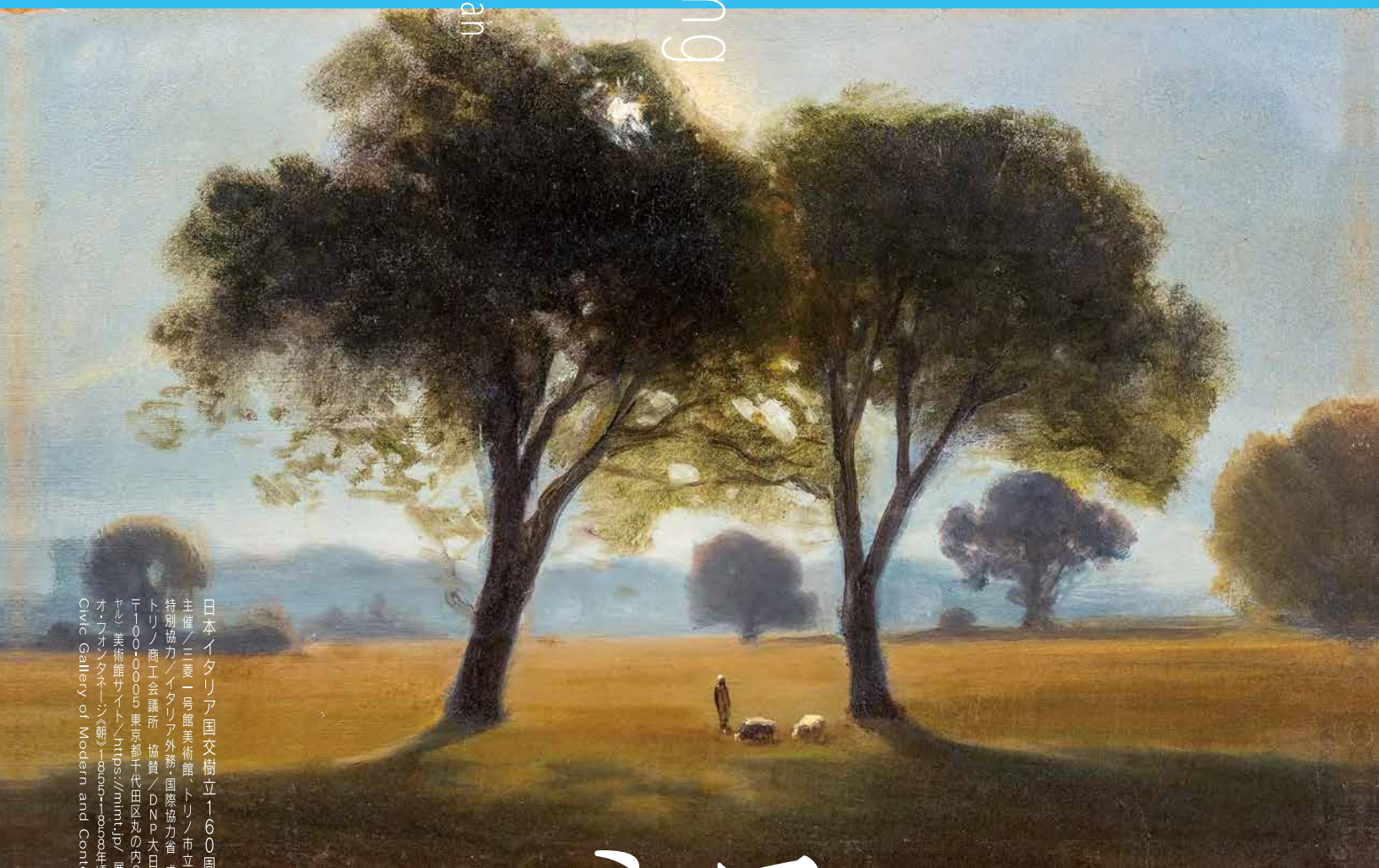
MITSUBISHI
ICHIGOKAN
MUSEUM,
TOKYO



フォンタ
ネージ
150
周年記念

Antonio Fontanesi Transcending Landscape

— A European Artist
at the Opening of Japan



フォンタ ネージ

——イタリアの光・
心の風景

2026
10/17 SAT
↓
2027
1/24 SUN

日本イタリア国交樹立160周年記念／フォンタネージ来日150周年記念
主催／三菱一号館美術館、トリノ市立近現代美術館、トリノ博物館財団 後援／イタリア大使館
特別協力／イタリア外務・国際協力省、成長・輸出促進総局、イタリア文化会館・東京・パートナー／
トリノ商工会議所 協賛／DNP大日本印刷、CRIF Japan株式会社 協力／TOKYO MX
100.0005 東京都現代美術館の因2022 合同企画／TEL.03.55.541.8000（ロータ
リアル）美術館サイト／<https://mint.jp/> 展覧会サイト／<https://mint.jp/ex.sp/fontanesi/> トン
リノ・フォンタネージ《樹》- <https://www.musei-torino.org/en/exhibitions/fontanesi/> 展覧会／展覧会場／展覧会場
Civic Gallery of Modern and Contemporary Art. Courtesy Turin Museums Foundation



CITTA' DI TORINO



Ministero degli Affari Esteri
e della Cooperazione Internazionale



Ambasciata d'Italia
Tokyo



Camera di commercio
Torino





1.《ブジェイ高原》1859-1860年 油彩／画布 40.5×72.5cm 2.《ベルグ湖畔》1855年頃 石版 15.1cm×21.7cm 3.《雲》1880年 油彩／画布 200×301cm 4.《フィレンツェの旧市場》1867年頃 油彩／画布 92×69.5cm 5.《物思いにふける羊飼いの》1861-1863年 油彩／板 27.8 × 38.1cm 6.浅井忠《徳川家の霊廟I(寺の入り口I)》1878年頃 油彩／紙 32.6×25.2cm
1～5 アンтониオ・フオンタネージ 1～6すべてトリノ市立近現代美術館蔵 GAM・Turin Civic Gallery of Modern and Contemporary Art. Courtesy Turin Museums Foundation



2

The 19th-century Italian painter Antonio Fontanesi (1818-1882) devoted his entire career to landscape painting. Spending time in Switzerland, France, Britain, and other parts of Europe, he created distinctive poetic landscapes, drawing inspiration from the Barbizon School and other artists such as J. M.

W. Turner. In 1869, he was appointed professor of landscape painting at an art academy in Turin. In 1876, at the age of 58, he accepted an invitation to teach at the new government-sponsored Kōbu Bijutsu Gakkō (Art School of the Imperial College of Engineering) in Tokyo. Over the next two years, before his return to Turin, his students included prominent early Western-style painters such as Asai Chū and Shotaro Koyama. This exhibition, organized in collaboration with GAM・Turin Civic Gallery of Modern and Contemporary Art and Turin Museums Foundation, offers an overview of Fontanesi's oeuvre spanning the breadth of his career. It also sheds light on his legacy, as reflected in the works of his Japanese disciples and contemporary and later Italian artists, demonstrating the full scope of his impact on the art world through around 200 artworks.



4



6



5

19世紀イタリアの画家アントニオ・フオンタネージ(1818-1882)は、1876年、58歳で工部美術学校の画学教師として日本に招聘され、その門下から浅井忠や小山正太郎ら初期の洋画家たちを輩出したことで知られています。スイスやフランス、英国などヨーロッパ各地に滞在し、バルビゾン派やターナーから影響を受けつつ、詩情豊かな独自の風景画を生み出しました。生涯にわたり風景に取り組んだフオンタネージは、1869年、トリノの美術アカデミーの風景画教授に任命されると、晩年に至るまでこの地で制作しました。本展は、トリノ市立近現代美術館およびトリノ博物館財団の協力のもと、画業の初期から晩年に至るまでのフオンタネージの作品群を概観します。また、日本の弟子たちの作品や、同時代・次世代のイタリア人作家の作品における彼の影響と遺産にも光を当て、フオンタネージの芸術の全貌を約200点により明らかにします。



3

アントニオ・フオンタネージ Antonio Fontanesi

1818年、イタリア北部レッジョ・エミリアに生まれ、当地の美術学校に学ぶ。1848年、第1次イタリア独立戦争に志願兵として参加。除隊後スイスに逃避、ジュネーブを拠点に活動する。第2次イタリア統一戦争後、パリのサロンに出品したほかロンドン、フィレンツェにも滞在する。1869年にトリノのアルベルティーナ美術アカデミーの風景画教授に就任。1876年「お雇い外国人」として工部美術学校に絵画教師として招聘され2年間日本に滞在。1879年、アルベルティーナ美術アカデミーに復職し後進を指導する傍ら、トリノを拠点に制作を続けた。1882年、トリノにて没。享年64。



フオンタネージの肖像写真(部分)
松戸市教育委員会所蔵

みどころ

1

イタリア近代風景画の巨匠
フオンタネージの日本初の大回顧展

みどころ

2

フオンタネージ来日から150年を経て、
師と弟子たちの作品が集結

みどころ

3

20世紀イタリアの芸術家たちに影響を与えた
フオンタネージの先進性を検証する意欲的な企画

フオンタネージ —— イタリアの光・心の風景

●会期／2026.10.17(土)～2027.1.24(日) ●開館時間／10:00～18:00 ※金曜日、第2水曜日、会期最終週の平日は20時まで ※入館は開館の30分前まで ●休館日／月曜日(ただし、祝日、トークフリーデー[10月26日、11月30日、12月28日]、および1月18日は開館)、12月31日、1月1日 ●観覧料／一般2,300円(2,100円)、大学生1,300円(1,000円)、高校生1,000円、中学生以下無料 ※0内は前売料金(高校生は前売料金設定なし)※価格はすべて税込 ※障害者手帳をお持ちの方は半額、付添の方1名まで無料(ただし入館週間期間12月4日(金)～12月10日(木)は障害者手帳をお持ちの方と同伴者1名様まで無料となります。入館の際に学生証、年齢確認書類、障害者手帳をご提示ください)※前売券は7月17日(金)～10月16日(金)まで、オンラインチケット販売ページよりお買い求めいただけます。 ※会期中展示替えあり

特別チケット

※以下、それぞれ他の割引との併用は不可

毎月第2水曜日「マジックアワーチケット」
1,600円

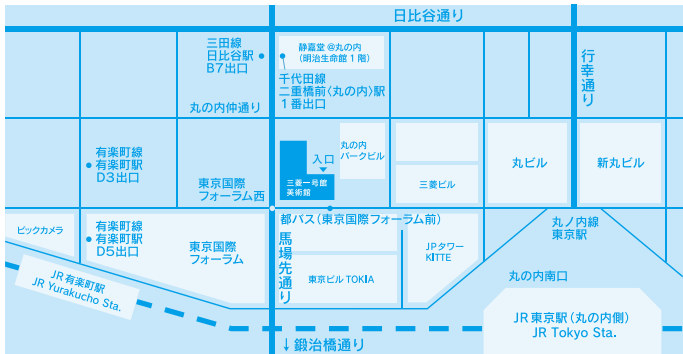
※17時以降に当館チケット窓口でのみ販売します。

#カラーコーデ割「トリコローレセレクト」

イタリア国旗3色(緑・白・赤)のうち、2色を取り入れたコーディネートで100円引き。チケット窓口にて「カラーコーデ割引お願いします」とお声がけください。

※チケット窓口での購入のみ適用となります(自己申告あり)
※ご購入済みのチケットへの後付け割引はできません。

フオンタネージ展 開催記念シンポジウム ●日時／2026年10月15日(木) 18:30～ ●会場／イタリア文化会館・東京(千代田区九段南2-1-30 地下鉄「九段下駅」(出口2 徒歩約10分) <https://iictokyo.esteri.it/ja/> ●言語／イタリア語・日本語の通訳付き ●参加費／無料 ●予約制／予約開始9月1日(予定) 主催／イタリア文化会館・東京、三菱一号館美術館



JR「東京」駅(丸の内線)徒歩5分・JR「有楽町」駅(国際フォーラム口)徒歩6分 東京メトロ千代田線「二重橋前(丸の内)」駅(1番出口)徒歩3分 東京メトロ有楽町線「有楽町」駅(D3/D5 出口)徒歩6分 都営三田線「日比谷」駅(B7 出口)徒歩3分 東京メトロ丸の内線「東京」駅(地下道直結)徒歩6分 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-6-2 お問い合わせ:050-5541-8600(ハローダイヤル)

三菱一号館美術館
MITSUBISHI ICHIGOKAN MUSEUM, TOKYO

【巡回情報】
京都国立近代美術館 2026.7.18(土)～10.4(日)
名古屋美術館 2027.2.6(土)～4.4(日)

Organized by Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo; GAM・Turin Civic Gallery of Modern and Contemporary Art; Turin Museums Foundation / Supported by Embassy of Italy in Tokyo / Special Cooperation by Ministry of Foreign Affairs and International Cooperation of Italy - DG for Growth and Export Promotion; Italian Cultural Institute in Tokyo / Partner: Torino Chamber of Commerce / Sponsored by Dai Nippon Printing (DNP), CRIF Japan KK



人を、想う力。街を、想う力。三菱地所